



いわきの女子高校生20名が来社し、本社のプルデンシャルタワーで
体験型実技演習プログラム「Job Shadow (ジョブシャドウ)」を実施

「仕事」とは?! 働きがいとは 何ですか?

“生きる力”を育む「Job Shadow」

「Job Shadow」は、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本（代表 佐川秀雄執行役理事、東京都品川区、以下 ジュニア・アチーブメント）が提供する体験型実技演習プログラムです。本プログラムは、高校生

が社員とペアになり「影（シャドウ）」として行動を共にし、「仕事をしている人を見ることで、仕事の厳しさや考え方、責任感を肌身で体験する」ことを目的としています。

7月25日（木）にD&I（ダイバーシティ&インクルージョン）の一環として、次世代女性のキャリア意識形成を支援することを目的に、女子高校生を対象とした体験型実技演習プログラム「Job Shadow (ジョブシャドウ)」を実施しました。

社会の仕組みや経済に興味を持つきっかけに!

ジブラルタ生命は、被災地いわきの次世代女性のキャリア意識の形成を支援する目的で2017年から本プログラムへ協賛しています。3回目を迎えた当日は、プルデンシャルタワーの本社オフィスに福島県立磐城桜が丘高校の女子生徒20名が訪れ、17部門の社員20名とペアを組み、ミーティングや通常業務などに約2時間同行しました。

ペアを組んで、まずは自己紹介。
お互いに照れくさそうですね。



会議にて。
よくわからない言葉があっても、
ひたすら聞いています。



デスクにて。生徒は、
仕事の様子を真剣に
目に焼き付けています。

一人ひとりの仕事が会社を支え、社会を支えているんだよ!

午後実施された社員と生徒との意見交換会では、生徒から多くの率直な質問が投げかけられ活発な意見交換が行われました。「目標はどうやって持てば良いですか?」「やりがいを感じる時はどんな時ですか?」「入社したての時は自信をなくすことがあったと思いますが、そんな時はどうしていましたか?」「自分の思っていることを伝えるにはどうしたらいいですか?」など、生徒からのたくさんの質問に、社員が真摯に答えていました。他人と違う意見を持つ勇氣や、自分とは違った意見に対する寛容性など、仕事を通じて得た体験を聞き、生徒たちも仕事に対する意識が変わったようでした。



意見交換会では、ざっくばらんに語らいが行われました。



真剣な瞳には「希望の未来」が映っています!



続いて修了証書の授与式を行いました。

今日1日、どうでしたか? / 感想を伺いました!



清田 淳一さん ● 資産運用チーム マネジャー

「仕事が本当に好きなのが伝わってきます」と平間さんから言われ、改めて、自分が大学生の頃からやりたかったこと、好きなことを仕事にできているんだな、と幸せを感じるとともに、これからも情熱を持ち続けて仕事をしていきたいと思いました。ディスカッションでは、生徒の皆さんがご自身の将来について迷いながらも真摯に向き合っている姿にとても心を打たれました。これから夢に向かう中で、様々な困難に直面すると思いますが、自分のことを信じて、真っ直ぐに頑張っていってほしいと思います。

平間 奏羽さん ● 1年生

今日をすごく楽しみにしていました。清田さんのお仕事は、最初は難しそうで理解できるのかなと不安でしたが、お話を聞くうちに面白そうだなと感じるようになりました。生き生きとして仕事をしている清田さんを見て、仕事を楽しむことの大切さを知りました。私は、将来はグランドスタッフ(空港での接客業務を担当する仕事)になりたいと思いますが、「夢はこれから先変わるかもしれないから、今は絞らないで広く勉強をすることが大切だよ」とのアドバイスが、とても参考になりました。

吉田 乃愛さん ● 1年生



親や先生以外の大人が働いているところを見る機会はあまりないので、貴重な経験でした!会社の中はドラマを見ているようでした(笑)。仕事はこんなにたくさんあるのか、と驚いたし、将来の夢の選択肢が広がりました。「仕事=好きなこと」ではないかもしれないけど、仕事をしていく中で成長できるということが、素晴らしいと思いました。

先生の目から見た生徒たちの変化

自分自身の進路をどう選択するか、将来をどう設計するかを真剣に考える時期が生徒たちには必要だと思うのですが、そのきっかけを与えてくれるのが「Job Shadow」です。学校には、いろいろな生徒がいて、夢がはっきりしている生徒もいれば、まだ意識が芽生えていない生徒もいます。意識が芽生えていない生徒が、参加後、進路に対してとても前向きになったり、勉強へのモチベーションが上がったりする様子を、今までの2回の実施で見してきました。「Job Shadow」は、大人が考える以上に生徒たちにとって、貴重な経験になるのだと感じています。





随行された伊藤 千晶先生(左)と豊田 浩美先生(右)

ジュニア・アチーブメントについて

1919年に米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しており、現在、世界123カ国、全米129都市に活動拠点があります。日本本部の設立は1995年で、2010年7月より公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

となりました。子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質(主体的に社会で自立できる力)を育むための支援を提供しています。

 ジュニア・アチーブメント ワールドワイド
www.ja.org

 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本
<https://ja-japan.org/>

わたしたちはこれからも
子どもたちへの様々な学びの機会の提供を通じて、
“未来を担う子どもたち”を応援していきます。

未来がみんなを
待ってるよ!

